

楽しかった理研 CDB インターンの総括

東京大学理学部生物学科 3年 鈴木瑞人
(配属先：感覚神経回路形成研究チーム)

1 週間の理研での生活はとても内容盛りだくさんで、うまくまとめあげることができず、箇条書きとさせていただきます。

今井猛研（感覚神経回路形成研究チーム）について

- ・研究室の雰囲気ワイワイしてとてもよかったです。
- ・今井先生は嗅球での軸索ガイダンスの最先端を走っているとても熱い方。
- ・実際に行っている研究はホームページに載っている以上のことで、嗅覚系にかかわらず、脳全体で応用できるような手法を開発なされており素晴らしかったです。
- ・今井先生は嗅覚系だけでなく、味覚や視覚にもお詳しく、どんな質問をしても最新の情報をさらっと答えてくれました。
- ・最終プレゼンの直前に僕が突然 ” 英語でプレゼンしたい ” と言い出しても、冷静にサポートしてくださり、最終的になんとか英語でプレゼンさせていただくことができました。
- ・柯さんには、親切に実験の説明とレクチャーを毎日遅い時間までしていただき、本当に感謝しています。柯さんは実験が本当にうまく、柯さんのようにいつかになりたいです。
- ・岩田さんには研究指導だけでなくいろいろな相談に載ってもらいました。さわやかさが半端なく、とても優しい方でした。
- ・藤本さんには個人的にどんな研究をなさっているかいろいろ聞かせていただきました。とても面白い内容で1～2時間くらいずっと質問してました。
- ・アシスタントの山下さんにも事務的なことをいろいろお世話になりました。

理研 CDB について

- ・普通の大学の研究室にいるとその研究室が一つのチームの単位ですが、理研にきて思ったのが、理研 CDB は全体で一つのチームだなということです。
- ・異分野との融合をもたらすような建物の構造的インフラが理研 CDB にはあります。
- ・理研 CDB には一流の研究者の方が多くいますが、皆さんとても若いので、話が合いました。気軽に相談にのってくれたり、有意義な雑談ができたりしました。
- ・研究者の方々一人一人のヴァイタリティーがすばらしかったです。

事務の方について

- ・懇親会でいろいろお話させていただきましたが、面白く熱意ある方が多かったです。
- ・今回の理研インターンも事務の方々中心になって企画してくださり、僕が得られた貴重な経験は彼らのサポートなしには得られなかったものなので、とても感謝しています。

インターン参加者について

- ・全国からたくさんのお応募があった中で選ばれた人たちなので、アクティブかつ個性的な人が多かったです。
- ・各々の専門は生物系が中心でしたが、医学・薬学系から電子情報までいろいろな方がいました。
- ・お互い興味の対象が似てるのでとても話が合いました。

最後になりましたが、学ぶことが多くとても楽しいインターンでした。ありがとうございました。



今井 TL と鈴木瑞人さん